

事業所名

デイジー

## 支援プログラム

作成日

令和8年

2月

24日

法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの特性を尊重し、安心できる環境の中で社会性と自己肯定感を育み、将来の自立と社会参加につなげる支援を行う						
支援方針		本事業所は、発達特性のある児童を対象にSST（ソーシャルスキルトレーニング）を特色とした支援を実施する。特定の年齢や特性に限定せず、発達段階および個々のニーズに応じた支援を行う。特に「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の育成を重点領域とし、小集団活動を中心に段階的なスキル定着を図る。						
営業時間		平日	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり
		学校休業日	8時	30分から	17時	30分まで		
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	来所時のあいさつ、荷物の整理、手洗い、時間を守ることなど、日々の生活の中で基本的な生活習慣を身につけられるよう支援します。活動の流れはスケジュールで示し、見通しを持って安心して過ごせる環境を整えます。気持ちが高ぶったときには落ち着く方法（深呼吸・クールダウンスペースの活用など）と一緒に練習し、自分で気持ちを整える力を育てます。小さな「できた」を積み重ね、自信につなげます。						
	運動・感覚	体を動かす遊びやゲームを通して、バランス感覚や体の使い方を育てます。ボール遊び、リズム運動、協力ゲームなどを取り入れ、「楽しい」「できた」という経験を大切にします。音や光が苦手など、それぞれの感覚の特性に配慮し、安心して参加できる環境を整えます。活動後には「どうだった？」と振り返り、自分の体や気持ちに気づく力を育てます。						
	認知・行動	集団でのルールや順番を守ること、困ったときにどうするかを具体的に練習します。「どうしたらよかったかな？」と一緒に考える時間を大切に、問題解決の力を育てます。衝動的に行動してしまう場合には、事前に約束を確認したり、代わりに行動を提案したりしながら、少しずつ自分でコントロールできるよう支援します。活動後には振り返りを行い、自分の成長に気づけるようにします。						
	言語 コミュニケーション	あいさつ、お願いの仕方、断り方、気持ちの伝え方など、日常生活に必要なやり取りをSST（ソーシャルスキルトレーニング）で練習します。ロールプレイやゲーム形式で学び、実際の生活場面で使えるよう支援します。「私はこう思うよ」と自分の気持ちを伝える練習や、相手の話を最後まで聞く練習も行います。言葉での表現が難しい場合は、カードや視覚的なツールを使い、伝える方法を一緒に探します。						
	人間関係 社会性	小集団での活動を通して、友だちと協力する経験を重ねます。順番を待つ、役割を果たす、相手の気持ちを考えるなど、社会の中で大切な力を育てます。トラブルが起きたときは、その場で終わらせるのではなく、「どうしたらよかったか」を一緒に振り返り、次につなげます。成功体験を積み重ねることで、「やってみよう」という気持ちと自己肯定感を育てます。						
家族支援		6か月毎のモニタリング、必要時の個別面談、家庭で活用できる関わり方の共有、関係機関との情報共有（保護者同意のもと）			移行支援		進級・進学時の情報共有および引継ぎ支援、学校との連携体制構築、将来を見据えた生活スキル向上支援、自己理解支援および目標設定支援	
地域支援・地域連携		学校との情報共有・相談支援専門員との定期的な連携、医療機関・関係機関とのケース会議参加、地域行事・交流活動への参加、必要に応じた地域資源の活用支援			職員の質の向上		外部研修への参加推進、支援の振り返りミーティングの実施、虐待防止・身体拘束適正化・感染症対策等の法定研修実施	
主な行事等		季節行事、社会体験活動（買い物体験、公共施設利用体験、公共交通機関利用練習等）、地域行事への参加（状況に応じて）						